

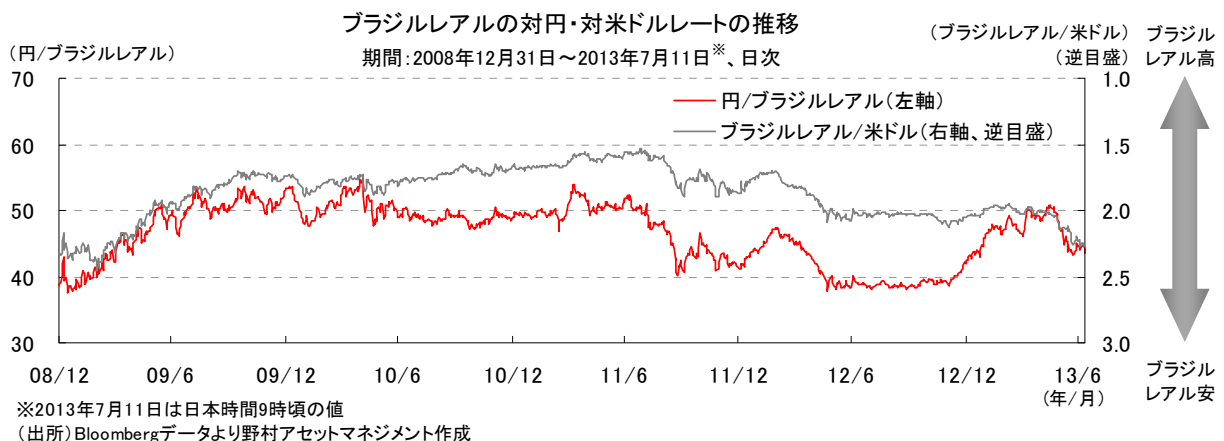
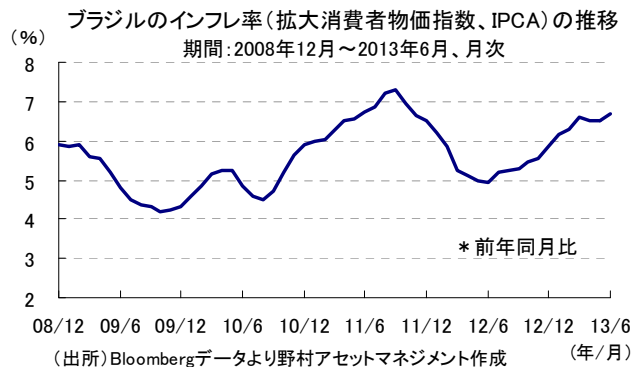
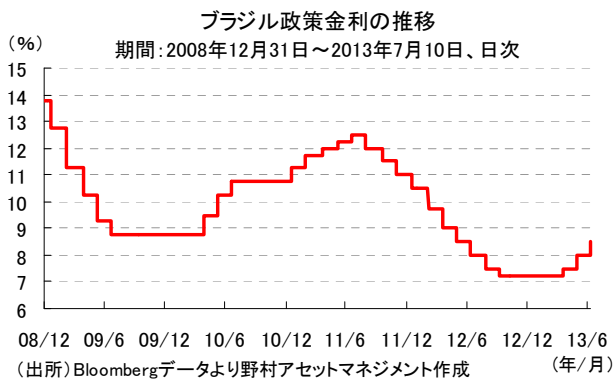
7月10日発表(現地時間)のブラジルの利上げについて

2013年7月10日(現地時間)、ブラジル中央銀行は金融政策決定会合において、市場予想通り政策金利を0.5%引き上げ、年率8.5%とすることを全会一致で決定しました。同中銀は今年4月の会合で1年9ヵ月ぶりに0.25%の利上げを決定した後、5月、今回と3会合連続で政策金利を引き上げています。

インフレ率が昨年半ば以降上昇を続けるなか、同中銀はインフレ抑制を優先させる姿勢を鮮明にしています。6月の拡大消費者物価指数は前年同月比+6.70%と、中央銀行の目標インフレ率の上限である6.5%を上回りました。また、足元のレアル安がインフレを更に加速させるとの懸念も高まっており、この点からも同中銀は対応を迫られた模様です。

7月11日の外国為替市場では、日本時間9時現在、ブラジルレアルが対米ドルで前日比0.7%、対円で同1.7%のブラジルレアル安となっています。

次回の金融政策決定会合は2013年8月27-28日(政策発表は日本時間8月29日)の予定です。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。